

令和 8 年度第 1 回 北栄町環境審議会 議事録（要約版）

1. 日時・場所

日時：令和 8 年 6 月 27 日（土）15:00～

場所：大栄農村環境改善センター1 階 会議室 3

2. 出席者

環境審議会委員：高野健（自治会長会）、徳岡幸裕（北栄町教育委員会）、徳山篤仁（JA）、福井暖（北栄町商工会）、浅田静枝 氏（女性団体）、上桙勇（町民代表）、山田眞吾（町民代表）、竹森ゆかり（町民代表）
（欠席：大野木昭夫（エコパートナーとっとり））

事務局（環境エネルギー課）：岩本課長、三谷室長、吉村室長

環境 CFO：山田陽果、遠藤晴恵、吉本さくら

（欠席：北中健太郎、市橋仁愛、門脇凜太、塩涼太郎）

3. 審議・報告事項

協議事項(1)会長・副会長の選出について

条例第 27 条に基づき、委員の互選により以下の通り選出した。

会長：山田眞吾（町民代表・3 期目）

副会長：大野木昭夫（特定非営利活動法人エコパートナーとっとり）

協議事項(2)令和 8 年度の主な環境事業計画について

事務局より主要事業の概要説明および質疑応答が行われた。

充電式電池の新規分別回収：

リチウムイオン電池等による発火防止のため、有害ごみとして新たに分別回収を開始する（第 1 回は 7 月 15 日）。各ごみ収集所では赤いコンテナに排出し、役場前では専用の給食缶型容器へ投入してもらう。

庁舎前回収ボックスの継続：

広域連合の事業廃止に伴い、7 月以降は町独自の事業としてボックス設置を継続する。住民はこれまで通り利用可能。

指定ごみ袋の在庫確保：

全国的には中東情勢の影響による品薄報道があるが、北栄町では令和 8 年度末までの在庫を十分に確保し、今年度作成分も発注済である。買いだめをせず冷静な対応を呼びかける。

ごみ袋のサイズ展開と収集支援：

委員から「小サイズでも大きすぎる」との意見あり。

令和 12 年度のプラスチックごみ一括分別導入に合わせ見直しを検討する。ごみ出し困難者へはシルバー人材センターの有償サービス等の活用を案内。

風力発電事業（民間譲渡と会計整理）

無償譲渡の実施：

北条砂丘風力発電所は約 20 年間にわたり町営で運営してきた。FIT 期間満了を迎えることに伴い、令和 8 年 4 月 1 日付で民間事業者（株式会社北条砂丘風力発電所）へ無償譲渡した

今後の計画：

新会社が10年間運転を継続し、10年後に全額事業者負担で撤去する。現在停止中の1・7号機は令和8年度中に先行撤去し、費用は町が基金から補助する。

撤去基金の地域還元：

積み立てていた基金（約13億円規模等）の活用として、町内全63自治会に対し10年間にわたり自治会交付金を一律加算（関係自治体は年15万円、その他は年10万円）することが可決された。残る基金については、地区公民館の大規模修繕支援メニュー創設を含め、環境・教育・地域振興を中心に有効な使い道を検討中。

モバイル建築事業（社会的備蓄と省エネ住宅体験）

コテージの整備：

北条オートキャンプ場内に、移動可能な「モバイル建築」を用いたコテージを整備した（7月14日セレモニー、7月18日オープン）。災害時は被災地へ移設し「緊急仮設住宅」等に転用する。

高いNE-ST性能：

鳥取県独自の高断熱・高気密基準「NE-ST（T-G2性能）」を満たし、エアコン1台で快適な室温を維持できるほか、優れた遮音性（外の騒音を約半分に体感）を備える。新築や改修への普及啓発を目的とした宿泊体験施設として運用し、宿泊費キャッシュバックキャンペーンも実施する。

脱炭素先行地域事業

1市2町と国・県の連携事業（5カ年総額50億円規模）。北栄町では耕作放棄地解消を目指し、高千穂地区に第1号の営農型太陽光発電施設（ソーラーシェアリング）が間もなく完成予定。パネル下で栽培する「どくだみ」は全量地元事業者が買い取るほか、サツマイモなどの付加価値作物の研究も進める。その他、農業用水ポンプ場への垂直ソーラーパネル設置など、中山間地域の課題解決と連動して進める。

協議事項(3)北条砂丘風力発電所管理委員会委員の選出について

風車譲渡後の安全管理や適正な経営・撤去を監視するために新設される同委員会の「町民代表枠」として、山田眞吾会長を推薦・選出し、全員一致で承認された。

協議事項(4)北栄町環境最高未来責任者（環境CF0）について

令和7年度の活動実績（海岸清掃や脱炭素チャレンジカップ表彰式出席など）が報告された。今年度は新メンバーを加え計8名体制で活動する。

出席CF0（山田陽果氏）からの抱負：若者や子どもたちが遊びながら楽しく学べる「ごみの分別ワークショップ」や「環境仕事体験」を企画したい。また、地域の祭り等にブース出店し、多くの人に興味を持ってもらえるきっかけを作りたいと発表。委員一同より大きなエールが送られた。

4. その他（情報共有）

環境基本計画の見直し：

今年度行われるまちづくりビジョンに見直しに伴い、今後「環境基本計画」の見直し・改定に関する審議を本審議会で行う予定がある旨が事前アナウンスされた。

ほうきりサイクルセンターの老朽化：

広域連合が運営するごみ処理施設の老朽化に伴い、新候補地の選定や基本構想策定に向けた具体的協議が本格開始された旨の新聞報道が共有された。

以上の通り議事を終了し、閉会した。